

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）  
分担研究報告書

疾患登録・疫学調査研究分科会

「腎臓領域指定難病新規受療患者数：全国アンケート調査」

研究分担者

旭 浩一 岩手医科大学医学部 内科学講座 腎・高血圧内科分野 教授

研究協力者

渡辺 毅 独立行政法人労働者健康福祉機構 福島労災病院 名誉院長・顧問  
井関邦敏 名嘉村クリニック 臨床研究支援センター センター長

研究要旨

2021年11月より日本腎臓学会指定研修施設（日腎研修施設）教育責任者の所属する全診療科（708科）を対象にアンケート調査を実施し、各診療科における腎臓領域指定難病（指定難病）の2020年度分の新規受療患者数ならびに腎生検年間実施数等を調査し、稀少疾患の把握、日腎研修施設全体における対象疾患年間新規受療患者数ならびに腎生検年間実施数の推定を行った。また、本年度の追加項目として非ネフローゼの一次性MPGNとMPGNのうちのC3腎症の数を調査した。

289診療科（内科274科、小児科8科、泌尿器科1科、その他6科）から回答を得た。アンケート回答診療科における2020年度の指定難病新規受療患者は、IgA腎症（IgAN）2676例、急速進行性糸球体腎炎（RPGN）1216例（うちMPO-ANCA型70.0%、PR3-ANCA型6.0%（73例）、抗GBM抗体型7.1%（86例））、一次性ネフローゼ症候群（NS）2694例（うち微小変化型34.6%、膜性腎症27.2%、巣状分節性糸球体硬化症9.7%、膜性増殖性糸球体腎炎（MPGN）4.1%（110例））、多発性嚢胞腎（PKD）1196例、紫斑病性腎炎395例が把握され、腎生検施行数は10648例であった。非NSの一次性MPGNは60例で一次性MPGN（NS+非NS）（170例）のうちC3腎症は24例（うちNS10例、非NS14例）が把握された。

□対象全診療科に対するアンケート回収率（40.8%）、全研修施設総病床数に対する回答施設の病床数カバー率（44.5%）より2020年度の日腎研修施設全体における各疾患の新規受療患者はそれぞれIgAN約6000-6600例、RPGN約3000-3300例、一次性NS約6600-7400例、PKD約2900-3300例、紫斑病性腎炎約1000-1100例、一次性MPGN（NS+非NS）約400-500例、腎生検施行数は約26000-29000例と推定された。腎臓病総合レジストリー（J-RBR/J-KDR）への参加登録済の104診療科における、各疾患の病因・病型分類の構成比は日腎研修施設全体のそれと明らかな乖離はなかった。

A. 研究目的

腎臓領域指定難病（IgA腎症（IgAN）、急速進行性糸球体腎炎（RPGN）、一次性ネフローゼ症候群（NS）、多発性嚢胞腎（PKD）、紫斑病性腎炎（HSPN）、一次性膜性増殖性糸球体腎炎（MPGN））の2020年度新規受療患者数ならびに腎生検年間実施数等を調査し、稀少疾患（抗糸球体基底膜（GBM）抗体型RPGN等）の把握、患者登録システム（J-RBR/J-KDR）のvalidity検証の参考データの提供、患者数の推計を行う。

B. 研究方法

2021年11月より日本腎臓学会指定研修施設（日腎研修施設）の教育責任者の属する708診療

科を対象に調査票（図1）を送付し、郵送にて回収した。2022年3月31日までに回答のあった診療科の回答内容を集計した。

調査項目：

A) 施設、診療科に関する項目

A-1. 所属診療科

A-2. 所属医療機関総病床数

B) 2020年度（2020.4.1～2021.3.31）新規受療患者数

B-1) IgA腎症（当該診療科で腎生検により新たに確定診断した例数）

B-2) 急速進行性糸球体腎炎（例数）

B-2-1) うちMPO-ANCA型

B-2-2) うちPR3-ANCA型

- B-2-3) うち抗 GBM 抗体型
- B-3) 一次性ネフローゼ症候群 (例数)
  - B-3-1) うち微小変化型 (MC)
  - B-3-2) うち膜性腎症 (MN)
  - B-3-3) うち巣状分節性糸球体硬化症 (FSGS)
  - B-3-4) うち膜性増殖性糸球体腎炎 (MPGN)
    - B-3-4-1) うち C3 腎症\*
- B-4) 多発性嚢胞腎 (例数)
  - B-4-1) うち常染色体劣性多発性嚢胞腎 (ARPKD)
- B-5) 紫斑病性腎炎 (HSPN) (例数)
- B-6) 非ネフローゼの MPGN (例数)
  - B-6-1) うち C3 腎症
- C) 任意回答項目
  - C-1) 腎臓病総合レジストリー (J-RBR/J-KDR) への登録 (未・済)
  - C-2) 2020 年度年間腎生検施行数

### C. 研究結果

#### i) 調査票回収率と回答診療科の内訳 :

アンケート回収率は 40.8% (289 診療科)、回答診療科の内訳は内科 274 科 (94.8%)、小児科 8 科 (2.8%)、泌尿器科 1 科 (0.3%)、その他 6 科 (2.1%) であった。回答診療科の所属施設の合計病床数は 146,887 床で、調査対象とした日腎研修施設 708 診療科の所属施設の総病床数 329,746 床に対する病床カバー率は 44.5% であった。回答診療科のうち、腎臓病総合レジストリー (J-RBR/J-KDR) に参加登録済施設の診療科 (レジストリーへの症例の登録の有無は問わない) は 104 診療科 (36.0%) であった。

#### ii) 回答診療科における 2020 年度の腎臓領域指定難病の新規受療患者数、年間腎生検施行数 :

回答診療科全体とその内の J-RBR/J-KDR 参加登録済施設の診療科における各疾患の 2020 年度新規受療患者の総数、各疾患の病型別構成比、年間腎生検施行数を表 1 に示す。

抗 GBM 抗体型 RPGN 86 例、PR3-ANCA 型 RPGN 73 例が新たに把握された。MPGN のうち C3 腎症は 24 例把握され、ネフローゼ例が 10 例、非ネフローゼ例が 14 例であった。

#### iii) 日腎研修施設における 2020 年度の腎臓領域指定難病の新規受療患者数、腎生検施行数の推計 :

日腎研修施設における指定難病の新規受療患者数推計値を過年度同様の方法、すなわち回答のあった診療科における各疾患の新規受療患者数並びに腎生検施行数をアンケート回収率

(0.408) 並びに日腎研修施設全施設の合計病床数に対する回答施設の病床合計のカバー率 (0.445) で除すことにより算出した。結果を表 2 に示す。

### D. 考察

IgA 腎症の新規受療患者数が 2019 年度 (推計 7100-8000 人) よりやや減少したが、その他の疾患の病型別構成比には前年度比で大きな変動は見られなかった。IgA 腎症は健診が診断機会となることが相対的に多いため、COVID19 感染症流行に伴う健診受診機会の減少等の影響を注意深く継続的に観察してゆく必要があると考えられる。J-RBR/J-KDR 参加登録済診療科における対象疾患の病因・病型分類の構成比は本年度調査においても日腎研修施設教育責任者在籍診療科全体のそれと概ね乖離がないものと考えられた。

### E. 結論

1. 2020 年度の日腎研修施設における腎臓領域指定難病の新規受療患者数と腎生検施行数は前年度に比し IgA 腎症で減少を認めたが、その他はほぼ横ばいであった。
2. 稀少疾患として PR3-ANCA 型 RPGN 73 例、抗 GBM 抗体型 RPGN 86 例、C3 腎症 24 例 (うちネフローゼ 10 例、非ネフローゼ 14 例) が新規に把握された。
3. J-RBR/J-KDR の参加登録済施設の疾患・病型分布は未登録施設を含めた日腎研修施設における分布と乖離はない。

別表にアンケートにご協力いただきました施設診療科を掲げ、深甚なる謝意を表します。

### G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

### H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業「難治性腎障害に関する調査研究」疫学アンケート調査 回答票

貴医療機関名	ご所属診療科名	代表者ご氏名
所在地（〒）	本アンケート担当者ご氏名：（ ） 連絡先（ ） □電話 □FAX □e-mail	

A. 施設、診療科に関する項目：貴診療科の分類と、貴所属機関の総病床数をお教え下さい。

1. ご所属診療科分類	<input type="checkbox"/> 1. 内科 <input type="checkbox"/> 2. 小児科 <input type="checkbox"/> 3. 泌尿器科 <input type="checkbox"/> 4. その他	2. ご所属医療機関の総病床数	_____床
-------------	---	-----------------	--------

B. 令和元年度の新規受療患者数：令和2年4月1日～令和3年3月31日の1年間（令和2年度）に貴診療科で新規に受療した患者の実数をお教え下さい。

1. IgA腎症※1	→	_____例	※1：貴診療科で腎生検を行い、確定診断をした症例数のみをお教え下さい。
2. 急速進行性糸球体腎炎	→	_____例	(→2の2% 腎生検施行例 _____例)
2-1 上記2のうち MPO-ANCA型	→	_____例	
2-2 上記2のうち PR3-ANCA型	→	_____例	
2-3 上記2のうち 抗GBM抗体型	→	_____例	
3. 一次性ネフローゼ症候群	→	_____例	(→3の2% 腎生検施行例 _____例)
3-1 上記3のうち 微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)	→	_____例	
3-2 上記3のうち 特発性膜性腎症(MN)	→	_____例	
3-3 上記3のうち 一次性巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)	→	_____例	
3-4 上記3のうち 一次性膜性増殖性糸球体腎炎(MPGN) (C3腎症を含む)	→	_____例	(→3-4の2% C3腎症 _____例)
4. 多発性嚢胞腎	→	_____例	
4-1 上記4のうち ARPKD(常染色体劣性多発性嚢胞腎)	→	_____例	
5. 紫斑病性腎炎	→	_____例	(→5の2% 腎生検施行例 _____例)
6. 非ネフローゼの一次性MPGN (C3腎症を含む)	→	_____例	(→6の2% C3腎症 _____例)

C. その他

腎臓病総合レジストリー(J-RBR/J-KDR)への施設登録はされていますか？(症例登録の有無は問いません)	<input type="checkbox"/> 1 済 <input type="checkbox"/> 2 未
貴診療科の年間腎生検数(令和2年4月1日～令和3年3月31日)(関連施設で施行された例は除き、貴診療科で施行した例数のみ)	_____例

図1 調査票(アンケート回答票)

表1 2020年度 腎臓領域指定難病 新規受療患者数, 腎生検施行数(2021年度調査)

	日腎研修施設 教育責任者 所属診療科 289科	J-RBR/J-KDR	
		登録済 診療科 104科	未登録 診療科 185科
<b>IgAN</b>	<b>2,676</b>	<b>1,515</b>	<b>1,161</b>
<b>RPGN</b>	<b>1,216</b>	<b>630</b>	<b>586</b>
うちMPO型	851 ( 70.0 %)	426 ( 67.6 %)	425 ( 72.5 %)
うちPR-3型	73 ( 6.0 %)	47 ( 7.5 %)	26 ( 4.4 %)
うち抗GBM型	86 ( 7.1 %)	44 ( 7.0 %)	42 ( 7.2 %)
<b>一次性NS</b>	<b>2,694</b>	<b>1,388</b>	<b>1,306</b>
うちMCNS	931 ( 34.6 %)	483 ( 34.8 %)	448 ( 34.3 %)
うちMN	733 ( 27.2 %)	392 ( 28.2 %)	341 ( 26.1 %)
うちFSGS	261 ( 9.7 %)	129 ( 9.3 %)	132 ( 10.1 %)
うちMPGN	110 ( 4.1 %)	47 ( 3.4 %)	63 ( 4.8 %)
うちC3腎症	10	7	3
<b>PKD</b>	<b>1,196</b>	<b>573</b>	<b>623</b>
うちARPKD	175	52	123
<b>HSPN</b>	<b>395</b>	<b>218</b>	<b>177</b>
<b>一次性MPGN(非NS)</b>	<b>60</b>	<b>32</b>	<b>45</b>
うちC3腎症	14	9	5
<b>腎生検数</b>	<b>10,648</b>	<b>5,971</b>	<b>4,677</b>

表2 日腎研修施設(教育責任者の所属する診療科)における、2020年度の腎臓領域指定難病新規受療患者数、腎生検数の推計(2021年度調査)

	新規受療患者数		新規受療患者数推計	
	回答289施設分 (日腎研修施設 教育責任者 所属診療科) (A)		日腎研修施設 全病床数に対する 回答施設の病床カバー率 に基づく推計 <sup>1)</sup>	
	回答289施設分 (日腎研修施設 教育責任者 所属診療科) (A)		アンケート回収率 に基づく推計 <sup>2)</sup>	
IgAN	2676	6013	—	6559
RPGN	1216	2980	—	3322
一次性NS	2694	6603	—	7361
うち一次性MPGN	110	270	—	301
PKD	1196	2931	—	3268
HSPN	395	968	—	1079
一次性MPGN (非ネフローゼ)	60	147	—	164
腎生検数	10648	26098	—	29093

1)日腎研修施設分の新規受療患者数÷日腎研修施設総病床数に占める回答施設総病床数のカバー率(=0.445)

2)日腎研修施設分の新規受療患者数÷日腎研修施設のアンケート回収率(=0.408)

別表 アンケート回答施設・診療科 (289 診療科)

秋田大学医学部附属病院	血液・腎臓・リウマチ科	松戸市立総合医療センター 小児科医療センター	小児科	社会医療法人社幸行田総合病院	腎臓内科
足利赤十字病院	腎臓内科	聖マリアンナ医科大学病院	腎臓・高血圧内科	虎の門病院	腎センター
大和立病院	腎臓内科	藤沢市民病院	腎臓内科	社会福祉法人三井記念病院	腎臓内科
新潟県立新潟病院	腎臓内科	山梨県立中央病院	腎臓内科	国際親善総合病院	腎臓内科
磐田市立総合病院	腎臓内科	市立甲府病院	腎臓・膠原病内科	医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院	腎臓内科
(独)労働者健康安全機構富山労災病院	内科	新日大病院	腎臓内科	立川総合病院	腎臓内科
市立大津市民病院	内科	名古屋市立大津病院	腎臓内科	JA静岡厚生連遠州病院	内科
公立学校共済組合中国中央病院	内科	(独)労働者健康安全機構中部ろうはい病院	腎臓・リウマチ膠原病内科	聖隷浜松病院	腎臓内科
社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	腎臓内科	愛知医科大学病院	腎臓内科	(独)国立病院機構金沢医療センター	腎臓内科
医療法人社団康心会 湘南東部総合病院	腎臓内科	済生会松原総合病院	内科	大坂大学医学部附属病院	腎臓内科
(独)東北市総合医療センター	腎臓内科	大塩市民病院	腎臓内科	奈良県立総合医療センター	腎臓内科
原田産科病院	腎臓内科	富山赤十字病院	腎臓内科	京都市立病院	腎臓内科
医療法人聖比留会 セントセル病院	腎臓内科	医療法人社団浅川 浅川総合病院	腎臓内科	一般財団法人甲南会 甲南医療センター	腎臓内科
医療法人修賢会 藤崎病院	内科	温習園立総合病院	腎臓内科	香川大学医学部附属病院	腎臓内科
医療法人深仁会 手稲深仁会病院	腎臓内科	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	腎臓内科	医療法人尚賢会高知高須病院	腎臓内科
医療法人王子総合病院	循環器内科	社会医療法人愛仁会 井上病院	内科	社会医療法人近藤会 近藤病院	腎臓内科
古河赤十字病院	腎臓内科	特定医療法人 様仁会病院	腎臓内科	九州大学病院	腎・高血圧・脳血管内科
医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院	腎臓内科	三豊総合病院	腎臓内科	大分赤十字病院	腎臓内科
(独)国立病院機構横浜医療センター	腎・膠原病内科	医療法人創和会 しげい病院	内科	前橋赤十字病院	リウマチ・腎臓内科
新潟大学医学部総合病院	腎・膠原病内科	医療法人中央内科クリニック	内科・腎臓内科	医療法人さくら さくら記念病院	腎臓内科
(独)国立病院機構まつもと医療センター	内科(腎臓)	(地)くまもと県北病院	腎臓内科	医療法人誠仁会 みほま病院	泌尿器科
中東総合医療センター	腎内	鹿児島大学病院	腎臓内科	富山県立中央病院	腎臓・高血圧内科
奈良県総合医療センター	腎臓内科	社会医療法人青洲会 福岡青洲会病院	腎臓内科	大阪市立大学医学部附属病院	腎臓内科
社会医療法人愛仁会 明石医療センター	腎臓内科	医療法人社団清永会 矢吹病院	腎臓内科	一般財団法人筑波龍仁会筑波学園病院	腎臓内科
広島大学病院	腎臓内科	聖路加国際病院	腎臓内科	東京都立大塚病院	内科
庄原赤十字病院	腎臓内科	安曇野赤十字病院	腎臓内科	東邦大学医療センター大橋病院	腎臓内科
高知大学医学部附属病院	内分泌代謝・腎臓内科	社会医療法人形樹 守口敬仁会病院	腎・透析科	京都山城総合医療センター	腎臓内科
済生会長崎病院	腎臓内科	医療法人津康会 塚近森病院	腎高血圧内科	神奈川県立こども医療センター	腎臓内科
東京慈恵会医科大学附属第三病院	腎臓・高血圧内科	愛媛大学医学部附属病院	腎臓内科	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	腎臓内科
済生会新潟病院	腎・膠原病内科	徳島大学医学部附属病院	腎臓内科	総合病院朝陽赤十字病院	内科
国際医療福祉大学熱海病院	腎臓内科	旭川医科大学病院	内科	医療法人財団明理会 イムス富士見総合病院	腎臓内科
順天堂大学医学部附属静岡病院	腎臓内科	東京歯科大学市川総合病院	内科	公益財団法人東京都保健医療公社 大久保病院	腎センター内科
長野市民病院	腎臓内科	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	腎臓内科	帝京大学医学部附属病院	内科学講座(腎臓グループ)
春日井市民病院	腎臓内科	川崎市立川崎病院	腎臓内科	虎の門病院分府	腎センター内科
蒲郡市民病院	内科	市立豊中病院	腎臓内科	三重大学医学部附属病院	腎臓内科
社会医療法人名古優記念財団 新生会第一内科	腎臓内科	市立市立病院	内科	市立池田病院	腎臓内科
紀南病院	腎臓内科	水戸済生会総合病院	腎臓内科	神戸市立西神戸医療センター	腎臓内科
(独)国立病院機構横浜田医療センター	腎臓内科	JAとりで総合医療センター	腎臓内科	山崎医科大学附属病院	腎臓内科
福岡市立こども病院	腎臓内科	NTT東日本関東病院	高血圧・腎臓内科	県立広島病院	腎臓内科
社会医療法人社団 堀ノ内病院	内科・透析・腎臓内科	南魚沼市民病院	内科	社会保険中央病院	腎臓内科
東京大学医学部附属病院	腎臓・内分泌内科	神戸市立医療センター西市民病院	腎臓内科	竹村内科クリニック	腎臓内科
医療法人社団和会 池上総合病院	腎臓内科	徳島大学病院	腎臓内科	JA長野厚生連 高長野医療センター藤ノ井総合病院	腎臓内科
東北薬科薬科大学長井病院	腎臓内科	総合病院山口赤十字病院	腎臓内科	順天堂大学医学部附属清宮安病院	腎・高血圧内科
自治医科大学附属さいたま医療センター	腎臓内科	福岡大学病院	腎臓・膠原病内科	日本総合医療	内科
医療法人財団明理会 春日部中央総合病院	腎臓内科	久留米大学病院	腎臓内科	日本医科大学付属小杉病院	腎臓内科
日本医科大学付属病院	腎臓内科	医療法人祥寿会 おもろまちメディカルセンター	内科	JA新潟厚生連生糸千谷総合病院	内科
東京警察病院	腎臓科	国家公務員共済組合連合会 大手前病院	腎臓内科	北村山立病院	内科
公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北腎臓内科	腎臓内科	沖縄県立中部病院	腎臓内科	大阪急性期・総合医療センター	腎臓高血圧内科

(続く)

岩手医科大学附属病院	腎・高血圧内科	社会医療法人社団健生会 立川相互病院	腎臓内科	大阪医科薬科大学病院	腎臓内科
石巻赤十字病院	腎臓内科	社会医療法人財団石心会 川崎幸病院	腎臓内科	関西医科大学附属病院	腎臓内科
(独)国立病院機構北海道医療センター	腎臓内科	大阪市立総合医療センター	腎臓・高血圧内科	社会医療法人同仁会 原総合病院	内科
社会福祉法人函館厚生院 函館五枝野病院	腎臓内科	田川市立病院	腎臓内科	京都大学医学部附属病院	腎臓内科
獨協医科大学埼玉医療センター	腎臓内科	公立八総合病院	腎臓内科	総合病院大島協同病院	腎臓内科
東京共済病院	腎臓高血圧内科	公益社団法人鹿児島共済会 南風病院	腎臓内科	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央腎臓内科	内科
立正佼成会附属佼成病院	腎臓・リウマチ膠原病科	医療法人社団三善会 仁徳会病院	腎臓内科	熊本病院	内科
東京都立小児総合医療センター	腎臓・リウマチ膠原病科	鹿児島市立病院	腎臓内科	JJA大分厚生連鹿児島病院	腎臓内科
公立学校共済組合 東海中央病院	腎臓内科	静岡県立こども病院	腎臓内科	熊本中央病院	腎臓内科
一般財団法人倉敷成人病センター	内科・リウマチ科	鳥取県立中央病院	腎臓内科	済生会熊本病院	腎臓科
社会医療法人川島会 川島病院	腎臓科	(独)地域医療機能推進機構早稲総合病院	腎臓内科	熊本赤十字病院	腎臓内科・小児科・泌尿器科
医療法人埼玉会 埼玉草加病院	腎臓内科	北海道大学病院	リウマチ・腎臓内科	日本医科大学多摩永山病院	腎臓内科
(独)地域医療機能推進機構 さいたま北部医療センター	腎臓内科	医療法人社団恵仁会 三愛病院	腎臓内科	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	腎臓内科
千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院	内科	一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院	腎臓内科	(独)地域医療機能推進機構北海道病院	腎臓内科
東京慈恵会医科大学附属病院	腎臓・高血圧内科	埼玉医科大学総合医療センター	腎・高血圧内科	岩手県立中央病院	腎臓・リウマチ科
(独)国立病院機構信州上田医療センター	腎臓内科	順天堂大学医学部附属順天堂医院	腎・高血圧内科	群馬大学医学部附属病院	腎臓内科
(独)国立病院機構新潟病院	小児科	医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	腎臓内科	聖隷佐倉市民病院	腎臓内科
公立松任石川中央病院	腎高血圧内科	平塚共済病院	腎臓内科	医療法人藤井会 石切生喜病院	腎臓内科
大津赤十字病院	腎臓内科	福井大学医学部附属病院	腎臓内科	奈良県立医科大学附属病院	腎臓内科
大阪赤十字病院	腎臓内科	医療法人東和会 第一東和会病院	内科	社会医療法人里仁会 興生総合病院	内科
パナソニック健康保険組合 松下記念病院	腎不全科	医療法人宝生会 PL病院	腎臓内科	(独)労働者健康安全機構山陰労災病院	小児科
鳥取大学医学部附属病院	腎臓内科	長崎大学病院	腎臓内科	一般財団法人永裕会松山市民病院	腎臓内科
下関市立市民病院	腎臓内科	弘前中央病院	内科	熊本大病院	腎臓内科
佐賀大学医学部附属病院	腎臓内科	公益財団法人ときわ会 常盤病院	腎臓内科	弘前大学医学部附属病院	腎臓内科
出水総合医療センター	腎臓内科	自治医科大学附属病院	腎臓内科学部門	慶應義塾大学病院	腎臓・内分泌・代謝内科
佐世保共済病院	腎臓内科	JJA住野厚生連佐野厚生総合病院	腎臓内科	浜松医療センター	腎臓内科
勤医協中央病院	腎臓内科	新潟市社会事業協会 信楽護国院	腎臓内科	一宮市立市民病院	腎内科
社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院	腎臓内科	東京都済生会中央病院	腎臓内科	市立奈良病院	腎臓内科
社会医療法人財団慈恵会相澤病院	腎臓内科	福岡赤十字病院	腎臓内科	仙台市立病院	内科
医療法人衆済会 増子記念病院	腎臓内科	東北大学病院	腎・高血圧内分泌科	一般財団法人大原記念財団 大原総合病院	腎臓内科
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 腎臓透析内科	腎臓透析内科	山形市立病院	腎臓内科	千葉大学医学部附属病院	腎臓内科
済生会滋賀病院	腎臓内科	(独)労働者健康安全機構福島労災病院	内科(腎臓内科)	国際医療福祉社 大成田病院	腎臓内科
船橋市立医療センター	腎臓内科	医療法人社団三思会 東邦病院	腎臓透析内科	あいち小児保健医療総合センター	腎臓科
日本大学医学部附属板橋病院	腎臓・高血圧・内分泌内科	神栖済生会病院	腎臓内科	権井泉済生会病院	内科
順天堂大学医学部附属練馬病院	腎・高血圧内科	筑波大学附属病院	腎臓内科	東京医科大学茨城医療センター	腎臓内科
東海大学医学部附属病院	腎・内分泌代謝内科	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	腎臓内科	市立三次中央病院	腎臓内科
鳥根大学医学部附属病院	腎臓・内分泌内科	東京北医療センター	小児科	(独)国立病院機構米子医療センター	腎臓内科
札幌医科大学附属病院	循環器・腎臓・代謝内分泌内科	東京医科大学八王子医療センター	腎臓病センター・腎臓内科・血液浄化療法室	宮崎大学医学部附属病院	腎臓内科
大崎市民病院	腎臓・内分泌内科	聖マリアンナ医科大学横浜西部病院	腎臓内科	社会医療法人友愛会 友愛医療センター	腎臓科
(独)地域医療機能推進機構仙台病院	腎センター	聖隷横浜病院	腎臓高血圧内科	杏林大学病院	腎臓・リウマチ・膠原病内科
(地独)総合病院国保旭中央病院	腎臓内科	JJA新潟厚生連上越総合病院	内科	市立四日市病院	腎臓内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	腎臓・高血圧内科	信州大学医学部附属病院	腎臓内科	(独)国立病院機構大阪南医療センター	内科
東京医科大学病院	腎臓内科	静岡県立総合病院	腎臓内科	富山大学附属病院	第二内科
公立昭和病院	腎臓内科	名古屋大学医学部附属病院	腎臓内科	石川県済生会金沢病院	内科
横浜国立大学附属病院	腎臓・高血圧内科	岐阜県立多治見病院	腎臓内科	市立札幌病院	腎臓内科
市立東大阪医療センター	腎臓内科	金沢大学附属病院	腎臓内科	福島県立医科大学附属病院	腎臓・高血圧内科
新小山市立病院	腎臓内科	市立長浜病院	内科	昭和大学藤が丘病院	腎臓内科
(独)国立病院機構千葉東病院	腎臓内科	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院	腎臓内科		
東京女子医科大学東医療センター	内科	社会医療法人寿栄会 大野記念病院	内科		

(順不同)